

東京都美術館でオレンジカフェを開催しました！

認知症の方やそのご家族が
安心して過ごせる交流の場を

永寿総合病院 認知症疾患医療センターと
東京都美術館が主催（共催：たいとう地域
包括支援センター、まつがや地域包括支援
センター）した今回のオレンジカフェ。
美術館の楽しみ方を知るとびラー（アート・
コミュニケーター）が一人ひとりを担
当し、展示室をめぐるという初めての試み
でした。

暑い中、東京都美術館に到着した皆さん
の顔に疲れはなく、期待に胸はずむ表情を
見ることができ、スタッフ一同大変嬉し
く、笑顔でお迎えいたしました。



到着後に、担当とびラーからこれからはる展示の紹介を。



「フィン・ユールとデンマークの椅子」展で 美しい家具を鑑賞

担当とびラーと一緒に椅子を鑑賞する参加者の皆さん。
どの方も皆さん、熱心にご覧になっていらっしゃいました。

「脚のところがすごく素敵ね」
「どんな人が座っていたのかしら？」
繊細で美しいデザインに気が付いたり、時代を思い描いたり。
美しい家具を見て、様々な発見や刺激を受ける皆さん。

「フィン・ユールとデンマーク椅子」展示会公式サイト
<https://www.tobikan.jp/finnjuhl/>



実際に椅子に座る体験を

椅子とは本来座るもの。という考えから、
展示室には実際に座れる椅子が展示されて
いました。

座ったり立ったりに危険がないように、認
知症疾患医療センターの看護師をはじめ、
スタッフがサポート。

「これは座り心地がいいな」

「あの椅子に座ってみたい」

と皆さん積極的に体験されていました。



座り心地の良い椅子に座って看護師と会話を。